

(様式第1号)

みなと SDGs パートナー 登録申請書

令和7年8月25日

国土交通省港湾局長 殿

みなとSDGsパートナー登録制度実施要綱第4条第1項に基づき、下記のとおり登録を申請します。

1. 概要

企業・団体名	宇部工業株式会社
所 在 地	山口県宇部市大字妻崎開作874番地の1
代表者役職・氏名	代表取締役社長 河野 剛志
担当者連絡先	電話：0836-41-8448（担当：総務部 福田 英敬） メール：jimka@ubekogyo.co.jp
ウェブサイトURL	http://www.ubekogyo.co.jp/

2. 港湾関係企業等としての事業の概要

弊社は昭和23年（1948年）創立の総合建設業者で、永年培われた港湾土木技術により港湾土木工事、港湾浚渫工事、一般土木工事を施工しております。また、石油・化学プラント、空港燃料給油施設、橋梁、水門、除塵機、ビル建築、工場建築等も設計、製作、施工する総合エンジニアリング企業です。「自らが誇れる会社、社会が評価する会社、家族が満足する会社づくりを目指そう」の企業理念のもと、永続発展企業を目指しております。

3側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	2030年に向けた指標
✓環境 □社会 ✓経済	ガソリン社用車93台のうち10台の更新時に、ハイブリッド車等のエコカーに変更することによりCO2を削減する。	CO2を年間6,000kg削減する。 【現状】118,500kg／年 ※CO2排出量をガソリン車（93台）176g/km・台、走行距離を30km/日、稼働日数を241日/年として計算 【目標】112,500kg／年 ※CO2排出量をガソリン車（83台）176g/km・台、ハイブリッド車（10台）94g/km・台、走行距離を30km/日、稼働日数を241日/年として計算
□環境 ✓社会 ✓経済	こども食堂やこども宅食、学習支援などの活動を行う団体への寄付を継続する。	2030年までに100万円を寄付する。

（次項へ続く）

SDGs達成に向けた具体的な取組

(注) SDGs目標Noのみを記入しているものは具体的ターゲットには一致し難いが関連する目標として整理した。

カテゴリ	チェック項目	具体的な取組 (公的な取得認証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目														
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
人権・労働	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出身などによる差別を防ぐ教育体制や相談体制を整備し、差別がないことを確認している	女性躍進一般事業主行動計画に基づき、女性が活躍できる職場づくりを推進するとともに、女性技術者を積極的に雇用している。					5.1 5.5			8.8		10.2 10.3					16.7
	【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体制を整備している	各種ハラスメントに対する社内ルール、相談窓口を制定し掲示板にて周知している。				5.1 5.2 5.5			8.8		10.2 10.3						16.1
	【労働時間】 ・過度な長時間労働の防止に取り組んでいる	「仕事」と「家庭」の両立ができる職場環境づくりに取り組み、毎月3回以上のノー残業デー（17時退社）、時間有給休暇（1時間単位）の取得を奨励することで、あらゆる年代の社員が働きやすいと思える会社づくりを目指している。								8.8							
	【労働安全衛生】 ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる	ISO45001：2018を認証取得し、労働安全マネジメントシステムを運用している。		3.6 3.9 3.d						8.8							
	【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良好に維持できるように対策に取り組んでいる	年1回メンタルヘルスチェック、メンタルヘルス講習を実施し社員のメンタルヘルスケアを行っている。		3.d													
	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材（女性、外国人、障がい者、高齢者等）が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる	社屋をバリアフリー化することで、障害者、高齢者が働きやすい環境づくりをしている。							8.8		10.2 10.3						
	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している	①必要資格取得のための受験料、受講料などを全額補助している。 ②グローバル人材を育成すべく、希望する社員に受講料を全額会社が負担し英会話レッスンを受講させている。		4.4	5.1 5.5			8.6									
	【健康経営】 ・従業員への健康投資による生産性の向上等に取り組んでいる	①新型コロナウイルス感染症への対処方針を策定し、対処方針に基づき毎朝の体調管理（体温チェックなど）、手指のアルコール消毒などを実施している。また、マスク・抗原検査キットの無償配布をしている。 ②社員にインフルエンザ予防接種の補助金を支給することで、ワクチン接種を促し、インフルエンザの蔓延を予防している。また、インフルエンザに感染した場合の重症化リスクを低減している。 ③35歳以上の社員を対象に、通常の健康診断に加えて血液検査追加メニューの受診により、病気の早期発見に努めている。 ④喫煙可能時間を定めることで、喫煙本数を制限している。	3							8							

カテゴリ	チェック項目	具体的な取組 (公的な取得認証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs(17ゴールと169ターゲット) 関連項目														
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
9 環境	【3Rの推進】 ・事業活動等から発生する廃棄物の管理及び処理を適切に行う等、3R（リデュース、リユース、リサイクル）の推進に取り組んでいる	産業廃棄物の処理、リサイクル、消耗品の無駄遣いに注意し、環境負荷の軽減を図っている。											11.6	12.4 12.5 12.7		14.1	
10	【エネルギー】 ・エネルギー利用の効率化を進めている	本社屋上および倉庫屋根に太陽光発電所を設置し、そこで作ったグリーン電力を弊社工場内で使用するしくみを導入している。								7.2 7.3			11.6		13		
11	【温室効果ガス】 ・温室効果ガスの排出量削減を進めている	①工場屋根に売電専用の太陽光発電設備を設置し、CO ₂ 換算で年間約80tのCO ₂ を削減している。 ②弊社所有の浚渫船は排出ガス対策型2次規制エンジンを搭載しておりCO ₂ を削減している。また、浚渫作業待機中は主機関を停止することで排出ガスを削減し大気汚染を防止している。		3.9					7.2 7.3				11.6	12.4	13		
12	【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001、または同等の環境マネジメント規格を取得している	ISO14001:2015を認証取得し、環境マネジメントシステムを運用している。		3.9			6	7					11.6	12	13	14	15
13	【環境情報開示】 ・環境の取り組みに関する情報を正しく開示している	(再掲) 工場屋根に売電専用の太陽光発電設備を設置し、CO ₂ 換算で年間約80tのCO ₂ を削減している。					7.2 7.3					11.6	12.4				
14	【再生可能エネルギーの利用】 ・再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる	(再掲) 本社屋上および倉庫屋根に太陽光発電所を設置し、そこで作ったグリーン電力を弊社工場内で使用するしくみを導入している。					7.2 7.3					11.6	12.4	13			
15 製品・サービス	【品質保証】 ・品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを構築している	ISO9001:2015を認証取得し、品質マネジメントシステムを運用している。									9						
16	【環境配慮】 ・環境に配慮した製品の開発・設計に取り組んでいる	ウルトラフロートカバー(※1)、ウルトラ・ブイラス(※2)の設置により、大気汚染を防止している。											12.4	13			
17	【社会課題解決】 ・社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる	①ネオライズ(※3)の設置により、津波・高潮などの水災害から「命を守り、暮らしを守る」ことに貢献している。 ②コンバー(※4)は、湖・水路に発生した外来種水草を根こそぎ除去し、生態系への影響や農業・漁業への被害を減少させている。										11	12	13	14	15	

※1 ウルトラフロートカバーとは

原油・ガソリンをはじめとする石油製品や揮発性の液体は、気温の変化などが原因で貯蔵量の約10%近くが蒸発損失するとされています。蒸発損失により、貴重な資源が浪費されるだけでなく、蒸発した物質による大気汚染も問題になっています。ウルトラフロートカバーは、新設や既存のコンルーフタンク内部に設置するアルミニウム合金製フローティングカバーでタンクの気密性を高めて蒸発損失を95%以上防ぎます。

※2 ウルトラ・ブイラスとは

石油基地・油槽所・化学工場等のタンクなどから排出される、揮発性有機化合物ベーパー・炭化水素ベーパーによる大気汚染の防止と資源の回収を目的とした装置です。

※3 ネオライズとは

無動力で操作不要の自立するフラップゲート式防潮壁です。災害時に誰かが操作する必要がありません。また、自動化や遠隔操作等のための電源や制御システムを一切使わない極めてシンプルな機器構成のため、故障しにくく維持管理の負担を大幅に軽減することができます。

※4 コンバーとは

弊社所有のコンバーは、河川・湖沼のメンテナンスに力を発揮します。アタッチメントを変えることにより河川等の草刈り、レーキ作業、ポンプ浚渫がこの一台で可能になります。マシンは最大30°の傾斜まで自走で入水、出水することが可能で、工事の汎用性が高い水陸両用多機能小型作業船です。

カテゴリ	チェック項目	具体的な取組 (公的な取得認証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs(17ゴールと169ターゲット) 関連項目														
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
社会貢献・地域貢献	【地域への配慮】 ・自社事業が地域に与える影響を把握し適切に対応している	①社員にて、週1回弊社付近の清掃を実施するほか、年1回の漁港清掃、道の日の道路清掃活動に参加し、地域の美化に貢献している。 ②(再掲)弊社所有の浚渫船は排出ガス対策型2次規制エンジンを搭載しておりCO ₂ を削減している。また、浚渫作業待機中は主機関を停止することで排出ガスを削減し大気汚染を防止している。			3.9								11	12	13	14	15
社会貢献・地域貢献	【社会貢献活動】 ・寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる	①宇部市奨学基金への資金支援を継続することで、ひとりでも多くの子供さんが質の高い教育を受けられるようにしている。 ②毎年開催される宇部市花火大会への台船提供をはじめとして、宇部まつりなど各種地域イベントに協力している。 ③弊社前の国道花壇の管理を行うことで道路の美化保全に努めている。 ④国や県との防災協定に基づき、災害発生時に協力する体制を整えている。 ⑤子供食堂を運営する団体への寄付をすることで、ひとりでも多くの子供さんが栄養のある食事を取れるようにしている。		2.1									11				
地域資源	【地域資源】 ・地域資源を積極的に利用(地消地産、地産外商)している	①下請・協力会社は基本的に市内・県内会社を優先的に使用している。 ②株主総会・創立記念の記念品等に地元の農産物を使用している。									8		12				
組織体制	【内部管理体制】 ・SDGsの達成に向けた経営理念及び経営目標を社内で共有している	弊社ホームページ及び社内掲示板にて共有している。									8						
法令遵守・社会的責任	【法令遵守・社会的責任】 ・法令を遵守するとともに、CSRに基づいた活動をするための体制・仕組みを構築している	各種マネジメントシステムの運用により、体制、仕組みを構築している。														16	
組織体制	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当、専門部署などの体制を整備している	総合安全衛生管理室、IT室、ISOシステム室などの専門部署を設置している。														16	
ステークホルダーとの対話	【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー(※)との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している(※利害関係者:消費者、投資家等及び社会全体)	定期的な顧客アンケート、顧客インタビューを実施している。														16	
リスクマネジメント	【リスクマネジメント】 ・法令遵守、環境安全衛生、労働環境などに関するリスクを特定、評価し、マネジメントするプロセスを整備している	(再掲) ISO9001、ISO14001、ISO45001を認証取得し、各種マネジメントシステムを運用している。														16	
事業継続	【事業継続】 ・事故や灾害などの発生における事業継続計画を立案している	BCPを策定し運用している。												13.1		16	
事業承継	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	全社ならびに各部で中長期計画を策定し、取り組んでいる。								8	9						

カ テ ゴ リ	チェック項目	具体的な取組 (公的な取得認証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目														
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15

上記以外で設定した取組項目

独自に設定したSDGsに資する取組	具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
特記事項無し																		

【記載留意事項】

- ・各カテゴリ毎に少なくとも1つ以上の項目に「具体的な取組」を記載して下さい。
- ・今回の申請に合わせて、今後取り組む予定のものについても「具体的な取組」として記載頂くことが可能ですので、積極的に記載して下さい。
- ・なお、今後取り組むものについては、「具体的な取組」の前に【予定】と記載してください。
- ・「具体的な取組」には、チェック内容に関する具体的な取組を記載してください。
- ・取組に関連する国際機関、国、県、市町村等の認証・認定等を取得している場合は、その旨を併せて記載してください。
- ・「主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目」はあくまでも標準的なゴールとターゲット番号を記載したものです。個別の取組に合わせて必要に応じて適宜変更して下さい。